

令和8年度 市長【記者】会見 発言要旨

令和 8 年 8 月 24 日(月)開催分

< 開催時間 > 13:00~13:30

< 会 場 > 庁議室(市役所本館3階)

< 会見案件 > ・9月補正予算案の概要
・福井市役所版 20%ルールについて
・ハラスメントに関する実態アンケートについて
・令和8年熊本地震への支援について

< 質疑応答 >

【記者】

中学校体育館の空調設備について伺います。空調設備自体の工事および運用開始はいつ頃になる見込みでしょうか。

【市長】

令和9年度に体育館本体の大規模改修工事を行う予定で、その際に空調設備の工事も併せて実施します。空調設備については、将来的に体育館への整備が必要になると考えており、体育館の改修と同時に施工することで、経費の節約や工事期間の短縮にも繋がると考えています。

【記者】

運用開始についても教えてください。

【学校施設課】

体育館の改修工事が令和9年度中に完了する予定ですので、工事完了後、検査等を経て、令和10年度の早い時期から運用を開始できるのではないかと考えています。空調設備ですので、主な使用時期は夏場になると思いますが、令和10年度に空調が必要となる時期には運用できるようにしたいと考えています。

【記者】

他の市内中学校について、大規模改修の予定はどうなっていますか。

【学校施設課】

他の中学校については、今後、第九次総合計画の中で整理し、検討していきたいと考えています。一方で、避難所に指定されている中学校については、先行して導入する場合があります。

【市長】

大規模改修と（避難所というカテゴリーの中での）空調設備の工事が二重になり、手戻りが生じることを避けるため、改修と併せて整備することが合理的だと考えています。

【記者】

他市の自治体でも空調を整備している学校があるが、避難所として整備したという背景があることから、部活や体育の授業で活用されていることがほとんどないようです。今回、明倫中学校に整備する体育館の空調設備については、避難所として使用するときだけではなく、普段の体育の授業や部活動、学校行事などでも使用するという認識でよろしいでしょうか。

【市長】

空調設備が整備されれば、体育の授業や学校行事など、通常の学校活動でも使用していただいて構いません。実際に、既に空調設備が整備されている松本小学校などでも、授業や学校行事で使用しています。災害時などに限定して使用するものではありませんので、その点をご理解いただきたいと思います。

【記者】

乳幼児・妊産婦の安心避難について伺います。6月に岡保こども園で避難訓練を実施されたと思いますが、同園を避難所として指定するという点でよろしいでしょうか。

【市長】

そのとおりです。

【記者】

いつ頃から利用できるようになる見込みでしょうか。

【こども家庭センター】

先日の訓練を通して、どのような資機材が必要になるのかを確認しました。今後、予算がつかましたら必要な準備を進め、協定を締結した上で指定することになりますので、秋以降になるのではないかと考えています。

【記者】

指定されれば、市内では初めてということになりますか。

【こども家庭センター】

妊産婦向けの指定避難所としては、市内で初めてとなります。県内については、現在すべてを把握しているわけではありませんが、ホームページなどで確認できる範囲では、妊産婦や乳幼児、母子に特化した避難所はあまり見当たらない状況です。

【記者】

今後、こうした避難所を増やしていく計画はありますか。

【市長】

そうした場所があればということになりますが、市としても状況を見ながら、増やしていければよいと考えています。

【記者】

ハラスメントに関するアンケート調査についてですが、対象となる「全職員」というのは、人数でいうと何人くらいいらっしゃるのでしょうか。

【職員課長】

正規職員がおよそ 2,200 人、会計年度任用職員がおよそ 1,300 人おりますので、合わせておよそ 3,500 人ほどです。

【記者】

職員を対象にしたアンケート調査を実施するのは、今回が初めてですか。

【市長】

こうした形で、職員全体を対象に本格的な調査を行うのは初めてです。これまでも相談業務など、さまざまな形でハラスメントへの対応を行ってきましたが、今回のように全職員を対象として調査するのは初めてとなります。

【記者】

今回、調査を実施することになった経緯を改めて教えてください。

【市長】

これまでも、いろいろな形でハラスメントが全くなかったわけではありません。私としても、職員が働きやすく、風通しの良い、明るい職場環境をつくっていきたいと考えています。

そういった意味でも、今回、全職員を対象とした調査を本格的に実施し、その結果を踏まえて指針を見直していきたいと考えています。また、今回、カスタマーハラスメントについても取り上げていますので、そうした問題に対して職員としてどのように対応していくのかについても、しっかりと考えていきたいと思っています。